

極小の世界展

重要無形文化財 伊勢型紙

— 無地の先に魅せる技 —

2024年 3/8(金)~3/10(日)

10時~20時 ※ただし8日は19時開場、10日は16時まで

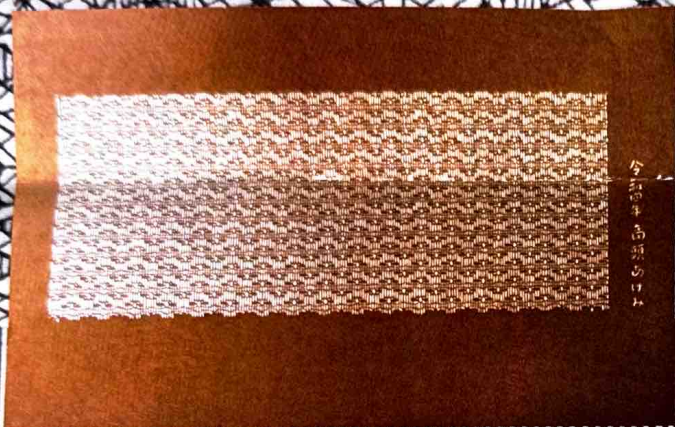
三重テラス 2階コミュニティスペース
東京都中央区日本橋室町2丁目4-1 YUITO ANNEX

入場無料



伊勢型紙は、着物の図柄を染めるために、和紙を柿渋で張り合わせた紙(型地紙)に様々な紋様を彫り上げたもので、古くから三重県鈴鹿市の白子・寺家地区を中心に発達した伝統工芸です。現在、その技術は国指定重要無形文化財であり、技術保持団体“伊勢型紙技術保存会”として「技」の継承に努めています。

本展示会では、日頃の成果を発表するとともに、制作した作品の展示と実演を行います。保存会が発足して30年、初めて東京でのお披露目です。伝統技術として、芸術の視点から、そして着物に興味のある方…皆様のお越しをお待ちしております。



今宵の宵の宵の宵の宵

「秋菫」突彫

表面上図:「青海波」錐彫、下図:「秋菫」突彫
裏面背景上:「松に蕨」突彫
背景下:「26本極毛万譜立割」縞彫



深山染

技術の実演

彫刻4技法と糸入れの実演を行います。

- ◆ 8日(金)13:00~19:00
 - ◆ 9日(土)10:00~19:00
 - ◆ 10日(日)10:00~16:00
- ※詳しいスケジュールは
2次元コードからご確認ください。



三重テラス 2階コミュニティスペース

〒103-0022
東京都中央区日本橋室町2丁目4-1 YUITO ANNEX 1F・2F

問い合わせ先/ tel 059-382-9031
(鈴鹿市文化財課 伊勢型紙技術保存会事務局)
主催/重要無形文化財保持団体 伊勢型紙技術保存会
後援/三重県・鈴鹿市

三重テラスHP



展示会詳細HP



■アクセス
東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅
JR 総武線快速「新日本橋」駅
JR 山手線・中央線・京浜東北線「神田」駅
より徒歩8分